

クウシオ くうさう

空想 儼然 (色)

空想 儼然 (他 甘巻)

○少年の空想が時に偉大な発明の源となる

ことがある

○彼の世界平和論は全く一片の空想に過ぎ

ない。

(| する) | 空想を以て描く

○彼は特^{世界の}未来について色々空想してゐた

↓ 今迄は單に空想にすぎたものが今後は実

現されつゝある。

ク
ウ
ゾ
オ
ぐ
う
ぶ
う

偶像 (名)

○ 今日 偶像 ~~を~~ 破壊 する と いふ 事は 主 と して

迷信 的 思想 を 打破 する こと を いふ の だ

○ イ
ハ
ト
ツ
ト
教 へ 偶像 崇 拝 を 止 め る

()

ク

ク

ク

空地

(名)

○空地利用。

○空地を耕して野菜を作る。

○空地を遊ぶ。

○

△空地は普通。

(文)

クウキニシ
右ウ

クウキニシ

空中

(108)

1. 空中には機雷が落ちる。

2. 鳥が空中を飛ぶ。

3. 煙が空中へ昇る。

4. 空中飛行。

5. 空中を飛ぶ。

空中戦

クウロン トエマシ

「空論」

(名)

○君の意見は一應おもしろい様だが、實際といふ

字カッパいへは結局机上の空論に過ぎない

~~○空論も幾つも並べたてるとより一つでも~~

~~実行した方が優れる。~~

○多くの空論は一の実行にも勝らぬ。

()

グ
ウ
ワ

ぐ
う
わ

〔寓話〕 (名)

○ 貴方は有名なイソップの寓話を讀んだこ

とがありますか。

○ 寓話は教育的な意味を
含んでゐる。
持つてゐる。

クエルクくへる食へるる自下

(一) 食ふ事が出来る

○ 僕は歯が丈夫だからどんな固いものでも

食へる

(二) 食ふ価値がある、美味である。

○ この店の料理は一す、食へる。

(三) 生活が出来る

○ 今の中は一人だから月五十円もあれば食

へるたから)

△ 丁寧な言ひ方では、食べられるしを用ひ、食へ

るは用ひない。

△ 打消、食へないは右の外意のに手におへない

仕末がわるいしの義に用ひる。

クガク

苦學 (名)

しする (自甘學)

○あの人 は 家庭教師 として 苦學をし ながら

大學を卒業した。

○若い頃 苦學して 遂に 博士に まで なった。

○苦學生

7
ガ
ツ

く
ぶ
わ
つ

元
月
(名)

○ニ
學
期
は
九
月
か
ら
初
まり
ま
す
。

○九
月
か
ら
は
秋
で
す
。

ク
チ

○箱に釘を打つ。

○床の釘を抜く。

釘
釘

カキ
ス
ケ

くま
づ
け

釘
附

名

○裏口を釘附にして出入しな。

○~~物賃を釘附にする。~~



○物賃を釘附にする。(法律におさへておく)

○あまりの所そろしさに私は甚所に釘附

に ~~ま~~ ^{さん}あてしまつた。

△恐しそのあまり鄭く事が出来たこと。

クギリ

くま

区切

(名)

○五行^{ごぎょう}毎に区切をしておく。

○この仕方はこの辺で区切をつけておく。

○~~~~~~~~~

そんな事は、何時迄も区切がつかない。

クギル

くま

区切

(他三四)

○少しづつ区切をお読み下さい。

○読む時は、この辺で区切る。
（文章を）

朗読する時を

ク
ク

く
く

「九九」(名)

○先生が九九は必ず暗記しておくやうにと

おつしやつた。

○あなたは九九が^{間違ひをくい}出ま^すか。

ククル

クク

枯る

(他う四)

い縛りつける

○ 柳行香を細引でくくる。

○ 赤坊を背中にくくりつける。

中しめる。

○ 袖口に紐をつけてくくると、^工金がよい。

二(三)頸を括る

○ あの人は頸を括つて死んだ。

○ 多寡をくくる。△ 輕視す、意

○ 茶葉をくくると、^工金がよい。
○ 赤坊を背中にくくりつける。
○ 柳行香を細引でくくる。

① 木心鼻子括子其學想

ク
ケ
ル

ク
ケ
る

潜る

他、ラ、四

○ 穴を潜る

○ 学校の門を潜る

△ 単に校内を通つてゆく事と、学校 学生を

経験した事と、事 意味する。

○ 橋の下を潜る。

○ 水を潜る

△ 海が水に潜る普通は 水中に

もどつてゆく車があるが併し、この流石は河

度、水を潜るとなると、古くは河

の度、先ず、河 子と云ふ

○法律を潜る△

○人目を潜る△

△甘みぬける

△人の目をとります。

○先を潜る

△先越しをする。

法律
に
か
、
ら
ぬ
様
に
悪
事
を
犯
す。

クケル

✂ 掛

〔斬ける〕

〔他部力下一〕

外部に縫目の見えぬ様子とあつけるこ

と

〇この着物の襟をくけておいて下さい。

()

クサ

○草が生える。

○田の草を取る。

○草を刈る。

○牛が牧場の草を食べてゐる。

○ふさふさとは、草や木まががなつかしい。

○草色

○草葺 (新葺きで屋根を葺いたもの。)

○草の庵。

〔草〕 〔色〕

クサイ

「臭い」形

○臭い匂

○ゴムがやけるので臭い匂がする。

○臭い肉

(=) あやしい。

○あの人がかうも臭いと思つた。ぬらぬらする。

犯人でした。

尾語的に用いられ、その物や匂のありさま

を表し、轉い。その傾がある。似、ぬりの意。

研をやる。

○酒くさい。

○バクくさい。

△(轉じてハイカラな事)

○煙草くさい。

○水くさい。

△(他人行儀な事)

○宗教くさい。

△(宗教の傾向あり)

クサカリ

~~カ~~

草刈

(五)

○彼は毎朝五時に起きて草刈に行きます。

○勤勞作業子は草刈を致します。

クサキ

くさき

〔草木〕 (カ)

○ 草木が青々と茂ってゐる。

○ 草木も^{はも}靡く勢^{せう}も^もや春の息吹^{いきぶ}が^が感^{かん}じられる。

○ 草木も眠る (句) 夜の三時頃 あちりの群の、要所

の目録子

○ 草木も靡く (句) 麻痺、人が服従すること。

()

ク
カ
ク
カ
ル
ク
ス
ク
ス
ク
ス
ク
ス
ク
ス
ク
ス

(自甘受)

○
ク気
か
く
さ
く
ま
す
る
や
う
な
天
気

○
い
や
ほ
事
ば
か
り
で
氣
ば
な
く
し
し
ま
い
ま
す

注意
く
一
や
く
一
や
す
ま
と
あ
な
じ

クサス

くさす

腐す。

(他四)

○人のやつた仕事を無暗にくさすものでは
ない。

クサバナ

〔草花〕 〔五〕

○美しい草花を押し。

○秋の草花を生ける。

○花壇に草花を作る。
(咲かせる)

クサハ
クサハ

クサハ

草原

原

○山の麓は見渡す限りの草原で牛馬が放牧され

てゐる。

○草原には秋の野草が咲乱れしをみす。

○クサハ
クサハ
とも書る。

クサビ

楔 (石)

○彼は楔を使つて木を割つてゐた。

○我軍は敵軍の中へ楔形に進出した。

○楔をうづつ後日相違りたしかりたしかり

○楔をうづつ前にあつた。

クサムラ

~~クサムラ~~

〔草叢〕

(名)

○窓の下の草叢では盛ん~~な~~虫が鳴いておる。

○^{私達は}草叢をわけわけ~~を~~進んだ。

()

クサラス
くさらす
〔腐らす〕 (他四)

④(ハ) 腐敗させる

○家カでは台所から出た芥を腐らしておいて

肥料にします。

(ニ) 厭イになす (氣を腐らす)

○一度失敗して瓦位で氣を腐らしてはいけな

い。

⑤ 腐クらせる (他下一) とし用ひる。

クサル

腐敗

○暑い時は物好か腐りやすい。

○肉が腐つた。

○柱や床板が腐る。

意氣銷死

○あつ人は根性百練。

○試験がうまく行かず腐つた。おろ

(尻)

中身男の人の便ふ言葉は女の人は便はあじ。

△俗語

腐る

(自ラ四)